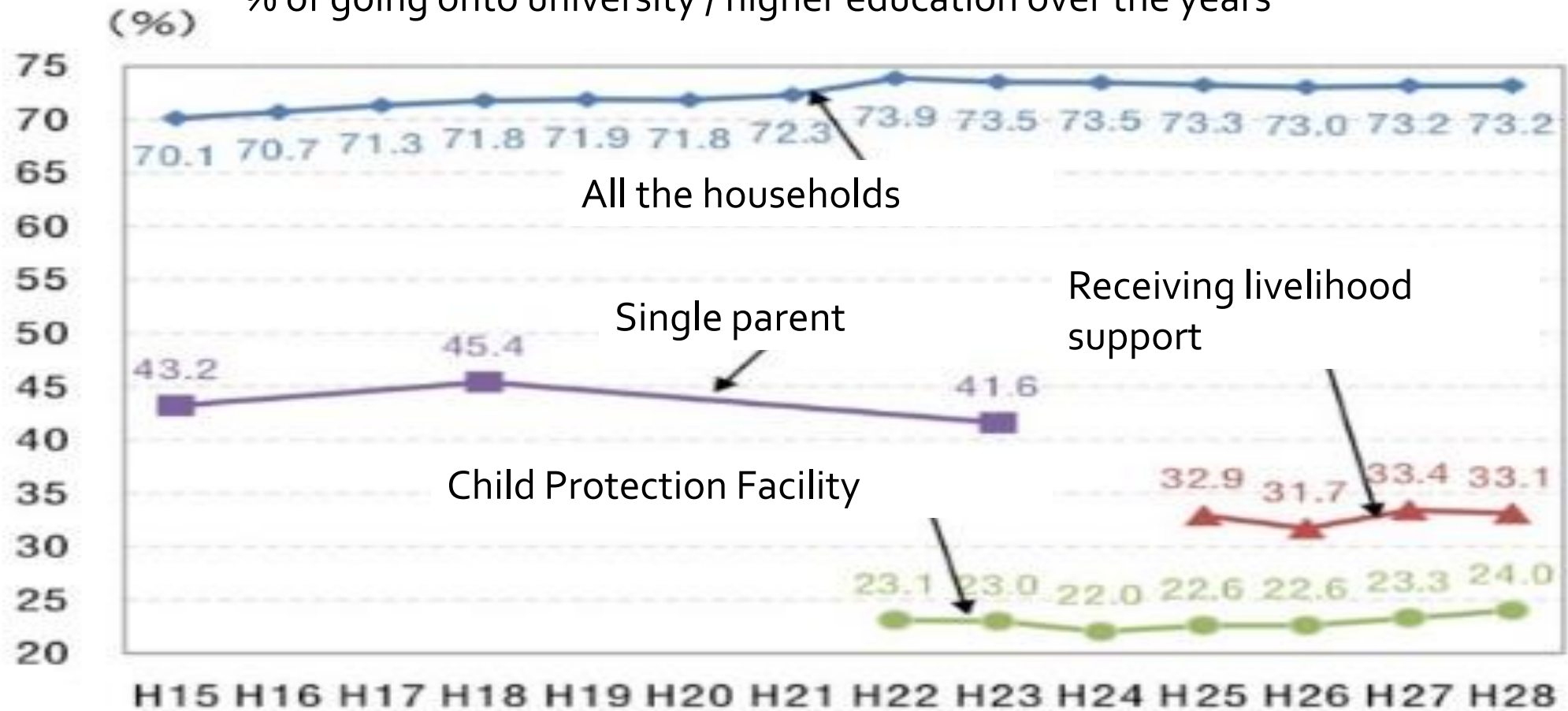


The Challenges for Children under Foster Care going into University

AO IFCA Kansai Team

% of going onto university / higher education over the years



- 注1) 生活保護世帯については、厚生労働省社会・援護局保護課調べ
 注2) 児童養護施設については、厚生労働省雇用・均等児童家庭局家庭福祉課調べ
 注3) ひとり親家庭については、厚生労働省「全国母子世帯等調査」より作成
 注4) 全世帯については、文部科学省「学校基本調査」を基に算出

図1.子供の大学等進学率の推移 内閣府（2016）

：令和2年4月1日／通常国会で法成立：令和元年5月10日）

2月28日関係閣僚合意）より】

＊政省令：令和元年6月28日公布

【支援対象となる学校種】大学・短期大学・高等専門学校・専門学校

【支援内容】①授業料等減免制度の創設 ②給付型奨学金の支給の拡充

【支援対象となる学生】住民税非課税世帯 及び それに準ずる世帯の学生
（（令和2年度の在学生（既入学者も含む）から対象））

【財源】少子化に対処するための施策として、消費税率引上げによる財源を活用
国負担分は社会保障関係費として内閣府に予算計上、文科省で執行

令和2年度予算（案） 4,882億円

授業料等減免 2,528億円※

給付型奨学金 2,354億円

※公立大学等及び私立専門学校に係る
地方負担分（392億円）は含まない。

国・地方の所要額（案） 5,274億円

[School]

University, Junior College, Job vocation school

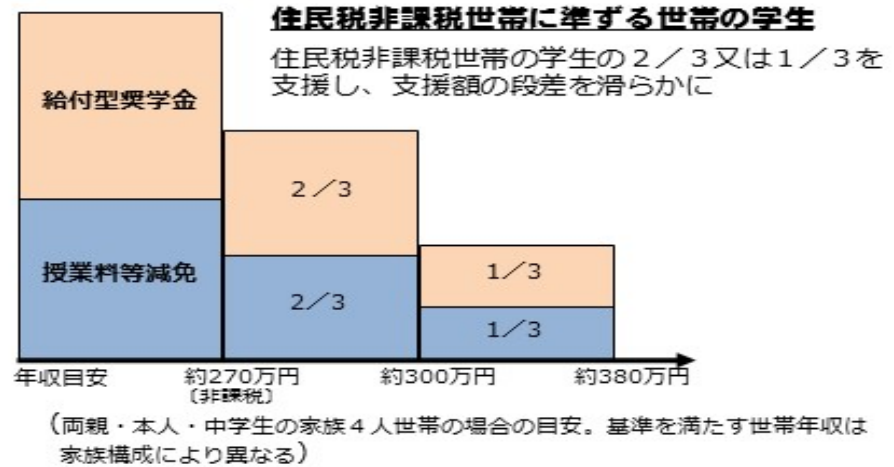
[Support Contents]

1. Reduction / exemption of tuition
2. Expanded provision of scholarship

[Student eligible for support]

Students from tax-exempt household / similar households

国公立	大学・短期大学・専門学校	自宅生 約35万円、自宅外生 約80万円
国公立	高等専門学校	自宅生 約21万円、自宅外生 約41万円
私立	大学・短期大学・専門学校	自宅生 約46万円、自宅外生 約91万円
私立	高等専門学校	自宅生 約32万円、自宅外生 約52万円



支援対象者の要件

- 進学前は成績だけで否定的な判断をせず、レポート等で本人の学修意欲を確認
- 大学等への進学後の学修状況に厳しい要件

大学等の要件：国又は自治体による要件確認を受けた大学等が対象

- 学問追究と実践的教育のバランスが取れた大学等
- 経営に課題のある法人の設置する大学等は対象外

※詳細は、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」参照 (http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)